

# ともに先へ、先へ。

民主党 参議院比例区第65総支部総支部長

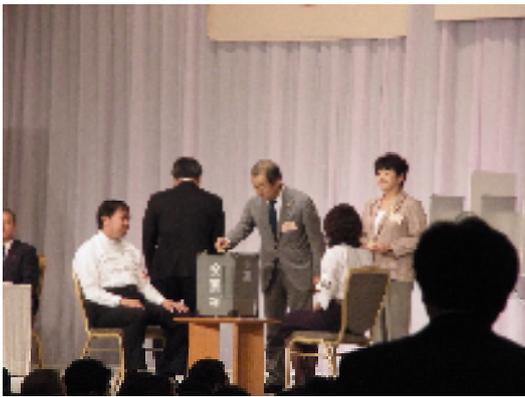
参議院議員 えさきたかし



## えさきたかしの「がんばるバイ」No.23

今こそ、民主リベラルの原点に立ち還った政治を目指そう

### 民主党代表選挙



9月21日に行われた民主党の臨時党大会にて、野田佳彦氏が民主党代表に再選されました。4名が立候補した今回の代表選挙において、江崎議員は赤松広隆元農林水産大臣を支持し、推薦人の一人となりました。

今回、赤松さんを推した議員たちには、「民主リベラル」の力を見せたいとの思いがありました。本来、旧民主党が結党された時に集った人たちが目指したのは、「保守」の自民党に対抗する政治勢力として「民主リベラル」を標榜していたはずで、政治活動や政策提案などの根底には、一貫して「民主リベラル」の視点がありました。「市民が主役」「国民の生活が第一」という、これまでのマニフェストに、それが表れていたと言えます。産業や企業寄り、国体など国家を中心とした政策を進める自民党への対立軸として、民主党は持たざるものや弱い立場へ追いやられている人など、「人」への目線を中心とした政策を掲げる政党であったのです。

政権交代以降、与党として政権運営するために、自民党政権からの政治の継続性と現実的な対応を求められ、民主党は徐々に保守的なスタンスへと変わらざるを得なかったことも事実です。しかし、野田総理が集団的自衛権の見直しに言及するなど、急に保守色を強めてしまいました。結果として、民主党に政権を負託した有権者から失望される事態を招いたのではないかと思います。

今回の代表選挙を通じて、党内の多くの議員たちからも、国民が第一という目線である「民主党の原点」に立ち還るべきとの声がありました。代表選挙で野田代表以外に票を入れた国会議員が100名以上となったことに表れていると考えます。今後、野田内閣や党の執行部に対し、これらの声に耳を傾け、政策を進めることを求めています。

### 保守化する政治の流れを止めるために

一方、同時期に行われた自民党総裁選では、立候補した5名の中で一番タカ派色の強い安倍晋三氏が総裁に選出されました。この総裁選を通じて判ったことは、自民党が以前より保守色を強くし、よりタカ派へと変わったということです。5名の候補者全員が、集団的自衛権の行使を認めるとし、原発については維持または推進派でありました。

中でも安倍氏は、公務員の政治的活動を制限する条例案を成立させようとしている橋下大阪市長と連携していくと見られています。自民党は先の通常国会に、大阪市の条例案と同様の趣旨の法案を提出しようとしたこともあり、今後、こうした動きが強まっていくことが懸念されます。

1年以内に必ず行われる総選挙の結果によっては、自民党が政権に復帰するかもしれません。そうなれば、彼らの悲願である憲法改正なども現実的なテーマとなることも考えられます。

このような危うい政治の流れをくい止め、変えていかなければなりません。維新の会や自民党などのタカ派保守の政治の流れとしっかりと対峙し、国家のためだけでなく国民のための政治を行うために、民主リベラルの旗を再度高く掲げてまいります。

2012年10月5日 えさきたかしの「がんばるバイ」No.23